

効果的な防災対策の立案に関する 検討会の設置について



大規模地震防災対策推進検討会(第4回)
令和8年3月2日
内閣府(防災担当)



目標	課題	方向性
被害を予防軽減するための 事前防災	A:地域における効果的な防災 対策の立案	①被害想定精度向上・高度化 ②災害リスク評価手法の検討
	B:被害軽減防止のための事前 防災の徹底	③優良事例の発掘・横展開、 進捗の要因分析・課題整理 ④人材育成・組織体制の確保
	C:行政だけに頼らない個人や 企業の自律的な取組の促進	⑤防災教育・啓発施策の推進 ⑥帰宅困難者等対策の充実 ⑦防災産業への参画を拡大 ⑧コミュニケーション手法の検討



定量的弱部分分析手法等検討会の開催について

- 防災立国の推進に向けた基本方針(令和7年12月26日閣議決定)では、防災庁が担う役割の一つとして、被害想定精度向上及び高度化を図るとともに、国・都道府県等が連携し、地域レベルでの具体的かつ分野横断的なシミュレーションに基づく災害リスク評価を通じて、大規模災害に対する社会や地域における弱部のあぶり出しを推進することとされている。
- そのため、被害想定精度向上及び高度化に係る手法や、シミュレーションに基づく災害リスク評価手法についての検討を行う有識者検討会を内閣府において開催する。

検討会委員等

開催予定

第1回:令和8年1月23日

第2回:令和8年3月10日

(令和8年度以降継続して開催予定)

主な検討事項(R7年度予定)

①被害想定精度向上・高度化

- ・被害想定手法の現状の課題整理及び今後の方針検討
- ・被害想定手法(国)及び都道府県の被害想定手法を参考事例として紹介する手引き(案)のとりまとめ

②定量的弱部分分析手法の検討

- ・定量的弱部分分析ガイドライン作成に向けたモデル地区での検討
- ・地域特性に応じた災害シナリオ及び防災上の課題や弱部等の把握手法に関する課題整理

検討委員

行政委員

氏名	所属・職名
磯打 千雅子	香川大学 IECMS地域強靱化研究センター 特命准教授
井出 多加子	成蹊大学 経済学部 教授
大原 美保	東京大学大学院 情報学環 教授
加藤 孝明	東京大学 生産技術研究所 教授
鋤田 泰子	神戸大学大学院 工学研究科 教授
廣井 悠	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
福和 伸夫	名古屋大学 名誉教授 (座長)
山本 尚範	名古屋大学 医学部附属病院救急科 診療科長
横田 崇	愛知工業大学 地域防災研究センター長・教授
宮城県 復興・危機管理部 防災推進課長	
静岡県 危機管理部 危機政策課 新被害想定担当室長	
高知県 危機管理部 南海トラフ地震対策課長	